

第11回総務文教常任委員会会議録

- 1 開会日時 平成27年9月29日（火）午前10時35分
- 2 閉会日時 平成27年9月29日（火）午前10時43分
- 3 会議場所 議会委員会室
- 4 出席委員
1 番 佐々木雄司君 2 番 光成 良充君 9 番 松田 勲君
10 番 北川 勝義君 14 番 下山 哲司君 16 番 実盛 祥五君
- 5 欠席委員
な し
- 6 事務局職員出席者
議会事務局長 富山 義昭君 主 幹 黒田 未来君
- 7 協議事項 1) 資格審査特別委員の選出について
- 8 議事内容 別紙のとおり

午前10時35分 開会

○委員長（北川勝義君） ただいまから第11回総務文教常任委員会を開会いたします。

それでは協議事項第1番目、資格審査特別委員の選出について、委員会から2人ということですが、いかがいたしましょうか。

また、これ私ごとですが、私が審査対象になったと、大変御迷惑をおかけしとります。先ほども、本会議場で申しましたように、弁解の意思とかいろいろ言わしてもらって、先輩の下山委員のほうから、こういうなんせんほうがえんじゃねんかということで退職させていただいともあります。

それで私がきょう遅れてきた、僕がせんで、僕は除斥で副委員長の佐々木さんがやっていただけるんじゃないかと思っておりましたんですけど、今言われたら僕らしんで、済いません。

どうしましょうか。それではどのようにいたしましょうか。

○副委員長（佐々木雄司君） やらせていただきたいです。

○委員（下山哲司君） 一応、賛成議員になっておりますんで。

○委員長（北川勝義君） ちょっ、ちょっ、わかった。

皆さんがやりてえ言われるんでやっていただきゃあええんですけど、前の時には確かやる人がおらんんで、私がやるということで、後というたら光成さん、松田さんがやらないと。佐々木さんもやらないと言われて、やる議員がおらんんで、そりゃあ北川君、しちやあおえまあがなと言うたんじゃけど、僕がせなんだら、下山さんは一人は認めたわな。せなんだら実盛さんと僕と二人しかおらんから、どっちかがせにゃあできんがなという話をした時があって、そういう例外があって、その時の意見は、下山さんが出んほうがえんじゃねんか言われたんで、皆さんが今、それは前回のことで、今全員の5人の方が出たいと手を挙げられたんで、どのようにさせてもらいましょうか。

○委員（下山哲司君） はい、委員長。

○委員長（北川勝義君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） 一応、丸山さんが賛成議員になっておりますんで、私はやらせてください。お願いいたします。

○委員長（北川勝義君） 皆さん、どういたしましょうか。

○委員（実盛祥吾君） くじ引きにすりゃあええがん。4人おるんじゃから。

○委員長（北川勝義君） 5人じゃがん。

○委員（実盛祥吾君） 5人じゃからくじ引きにすりゃあ。平等になるがん。

○委員（下山哲司君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） ちょっちょっ。

皆さん、今くじをさせていただきたいというのが出ました。よろしいですか。

○委員（下山哲司君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） 提出者を外すというあれは常識として……。

○委員長（北川勝義君） 下山さん、それはおえん。

○委員（下山哲司君） 参加をさせていただかにはあおえんので。

○委員長（北川勝義君） 下山委員、それはあなたがこの間言ったことと全く逆のこと。佐々木さん、覚えとろう。出ちゃあいけん。僕に出るなと言われたん。

○委員（下山哲司君） いや、あなた出たんじゃから……。

○委員長（北川勝義君） 提出者じゃけえ出ちゃあいけん言われた。その時出たのは、後は下山さん、むちゃ言われな。残っとんのは、私と実盛さんが二人提出者で、二人しかおらなんだがんところという話で出さしてもろうたん。あれがほかの人が光成さんが出てえとか佐々木さんが出てえとか、ほかの人が松田さんが出てえ言うたら僕ら出てなかったん。それを下山さん、そねえ筋の違う話をせずに。

皆さんお諮りしますけど、くじにさせてもろうたらどんなですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○副委員長（佐々木雄司君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 佐々木委員。

○副委員長（佐々木雄司君） 前回の話は前回の話で、今回の話は今回の話なので、前回は踏襲しなければ必ずしもいけないという理由は見つからないと思います。提出された御本人さんがたつての希望で是非やらせていただきたいんだとおっしゃられているわけですから、そのお考えというのは尊重されるべきだと僕は思います。それを超えるようなものが何か理由としてあるのであれば、御本人さんの強い意志があるのであればそれを改めて検討しなければいけないと思います。

○委員長（北川勝義君） それでは皆さんお諮りします。

二つとします。くじにするのが1点。それから本人が発案者じゃから出たいというのが1点。それを二つを採りたいと思いますのでよろしくお願いします。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（北川勝義君） それでは賛否をとります。

発議をした人でそうさしてもろうてよろしいか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（北川勝義君） 発議をした人が出るのがいいと思われる方は挙手願います。

〔賛成者挙手〕

○委員長（北川勝義君） それから、賛成する人がくじの人がおりましたら、くじの人がいいということになります。

それではくじにさせていただくことにします。事務局のほうでくじを用意してください

い。

休憩します。

午前10時39分 休憩

午前10時40分 再開

○委員長（北川勝義君） 再開します。

それではくじをしますんで引いてください。順番で。1番と2番が関係者ということ、出席者ということです。それではお願いします。

引く順番はえかろう。はい。

もう下山さん、いらんことはええから。今決まったんじゃから。さっき佐々木さんも言った、この前はこの前じゃから。

引いてください。

○委員（下山哲司君） じゃから参加せんでもええがな。

○委員長（北川勝義君） 下山さん、引いてください。

○委員（下山哲司君） くじは認めん。

○委員長（北川勝義君） ほんなら、佐々木さん。

〔くじ引き〕

○委員長（北川勝義君） 番号を確認してください、事務局のほうで。

はい、松田さん、5。佐々木さん、1。はい、佐々木さん。

最後、引かにかあおえんがな。

あんた、じゃあから決まってせんんだら、くじも認めん言うて。もう認めんのじゃろ、くじを。

そういうことを言わんでも、決まったらな、それでそう従やあえんじゃということ。

違うっちゃ。前回は佐々木さんが言うたがな。前回のことは踏襲せん言うたがな。あんたら自分の都合だけでいう話じゃのうて、今の残りもんでなったんじゃけええがな。

佐々木さんと下山さんがなりましたんでお願いします。

それでは以上で終わりたいと思います。

午前10時43分 閉会